

TOPPAN

Toppa n Story

トッパン・ストーリー ● 株主通信

Vol.76 December 2015

第170期 第2四半期報告書

平成27年4月1日から平成27年9月30日まで

CONTENTS

2 株主の皆さまへ
4 第2四半期 業績の概況
5 第2四半期 セグメント別概況
7 第2四半期 連結財務諸表の要旨
9 トピックス
10 ピックアップニュース
12 インフォメーション
14 株式情報
15 会社概要



株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第170期(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)のトッパングループの業績概況につきまして、ご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、金融政策や財政政策の効果もあり、円安を背景とした企業収益の改善やそれに伴う雇用・所得環境の改善が続いたものの、回復ペースは緩慢なものとなりました。また、中国をはじめとするアジア新興国経済の減速など、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しています。

印刷業界におきましては、インターネット広告などのデジタルメディアが拡大する一方、雑誌や書籍などの出版印刷物をはじめとしたペーパーメディアの縮小傾向や競争激化による単価下落などが続いており、全体を通しては厳しい経営環境となりました。

このような環境のなかでトッパングループは、21世紀の企業像と事業領域を定めた「TOPPAN VISION 21」に基づき、「グループを含めた構造改革の遂行」、「新事業・新市場の創出」、「グローバルな事業展開の加速」を重要な経営課題と位置付け、グループ一体となって収益体

制の強化に取り組んでまいりました。新たな収益モデルを早期確立すべく、既存事業においては競争優位性の確立とコスト削減を推進し、新規事業においては成長分野に対して積極的に経営資源を投入してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期に比べ0.5%減の7,208億円となりました。また、営業利益は63.7%増の142億円となり、経常利益は16.6%増の158億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は27.1%増の82億円となりました。

中間配当金につきましては、1株当たり9円とさせていただきます。年間では18円の配当を予定しています。

今後もトッパングループはグループ一丸となって、収益性を高めることで企業価値の向上を目指し、株主の皆さまのご期待に応えてまいります所存です。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

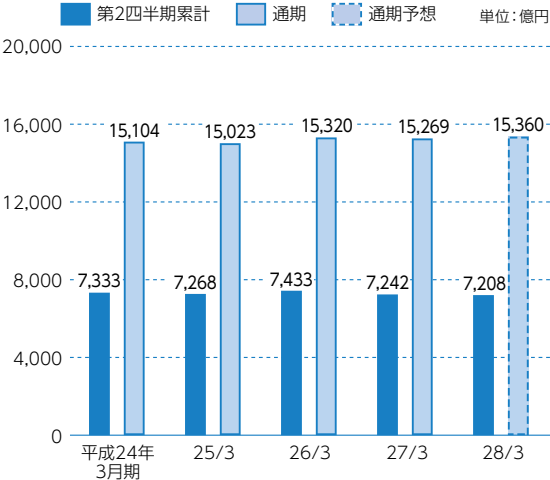
平成27年12月

代表取締役社長

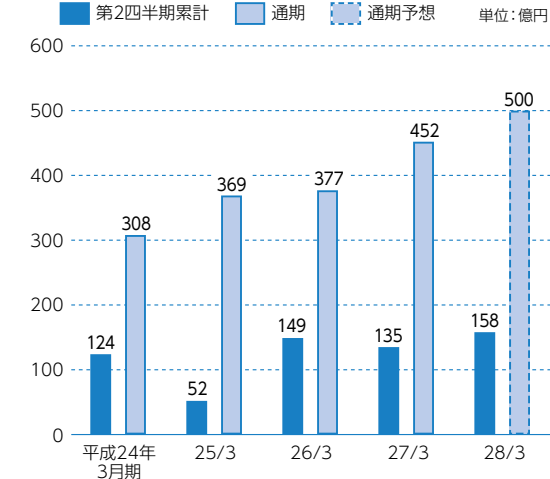
金子真吾

第2四半期 業績の概況

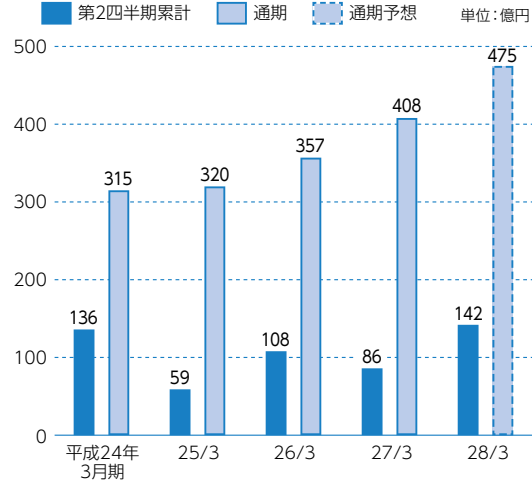
売上高



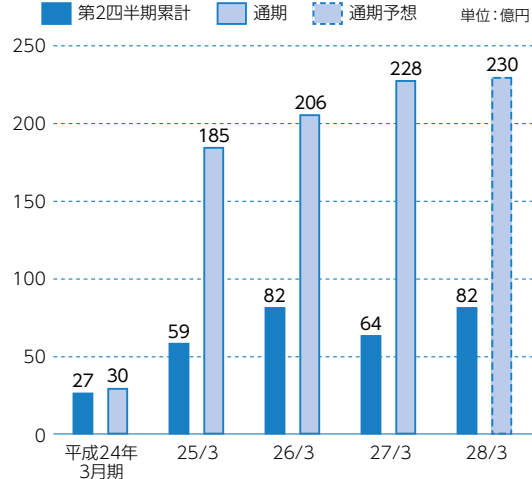
経常利益



営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



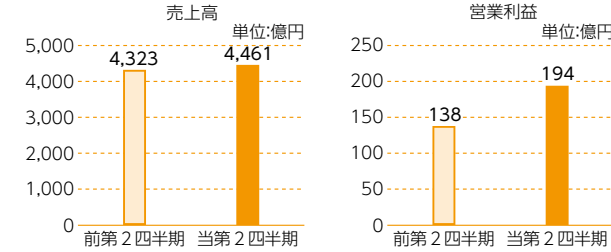
第2四半期 セグメント別概況

	売上高	対前年同期比	営業利益	対前年同期比
情報コミュニケーション事業分野	4,461 億円	3.2% 増	194 億円	40.4% 増
生活・産業事業分野	2,046 億円	0.6% 減	60 億円	16.4% 増
エレクトロニクス事業分野	839 億円	13.9% 減	25 億円	27.0% 増
調整額	▲ 138 億円	-	▲ 138 億円	-
合計	7,208 億円	0.5% 減	142 億円	63.7% 増

※平成27年4月に事業本部を再編し、「生活・産業事業本部」及び「エレクトロニクス事業本部」を設立したことに伴い、第1四半期連結累計期間より報告セグメントの区分を変更しています。前年同期比較につきましては、前年同期の数値を変更後の事業区分に組み替えた数値で比較しています。

情報コミュニケーション事業分野

- セキュア関連では、情報化の進展に伴い個人情報保護に対する関心が高まるなか、専門的な人材や強固なセキュリティ環境を活かしたBPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）が増加し、全体として前年を上回りました。
- マーケティング関連では、チラシ、パンフレット・カタログなどの一般印刷物は減少したものの、SP関連ツールやキャンペーン事務局などの業務受託ビジネスが順調に推移したほか、高品質な映像制作や多言語対応などの新たなソリューションを推進し、全体として前年を上回りました。電子チラシサイト「Shufoo!（シュフー）」は、株式会社マピオンと連携することにより位置情報に合わせた新しい情報配信の実証実験や情報キュレーションアプリへのチラシコンテンツの配信など、さらなるサービスの進化に取り組んでいます。
- コンテンツ関連では、出版市場が依然として縮小する



なか、月刊誌や週刊誌を中心として雑誌は減少しました。読者の多様化するニーズに対応するため、これまでに培ってきたコンテンツ制作ノウハウを活かし、紙と電子のハイブリッド出版に対応した書籍制作支援クラウドサービスや出版コンテンツ・ライツのプロモーションへ展開し、事業の拡大に注力しました。

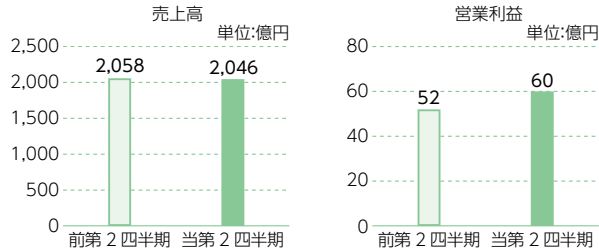
- ビジネスフォーム関連では、ビジネスフォームは、帳票を中心とする印刷物の調達業務を一括で受託する企画・提案などを推進したものの、電子化に伴う需要量の減少や配送伝票の数量減および簡素化に伴う単価ダウンなどにより、前年を下回りました。データ・プリント・サービスは、自治体や金融機関などからのBPO受託の堅調な増加などにより、前年を上回りました。



セキュア関連のサービス例 (BPOセンター)

生活・産業事業分野

- パッケージ関連では、紙器は減少したものの、軟包装材や環境配慮型製品である紙製飲料缶「カートカン」は増加しました。空気の力で自立するスタンディングパウチ「エアホールドパウチ」は、自立性や注ぎやすさ、廃棄適性、高いバリア性が評価され、酒類製品や液体調味料に加え、エンジンオイルなど産業資材用途で拡大しました。また、ライフスタイルの変化に伴う利便性向上、賞味期限延長などの多様なニーズを背景に、透明バリアフィルム「GL FILM」を活用した各種包装材が順調に推移しました。
- 高機能・エネルギー関連では、リチウムイオン二次電池



関連部材は堅調に推移し前年を上回りました。

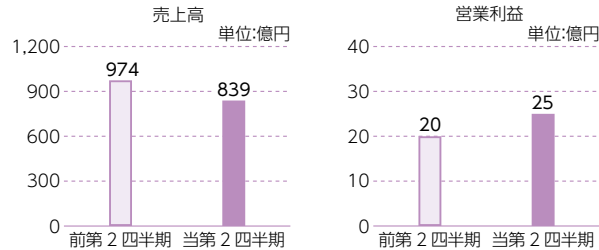
- 建装材関連では、「トッパンエコシート」などの環境配慮型製品を積極的に販売したほか、自然素材の質感を持つ化粧シートと不燃基材を組み合わせた内装壁面および建具向け不燃化粧パネル「マテリアム」の販売を開始するなど、機能性や意匠性に優れた製品を展開しました。その結果、国内向けは前年を下回りましたが、欧米向けは堅調に推移しました。



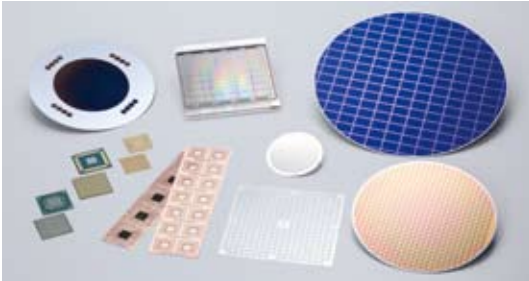
パッケージ関連の製品例(「GL FILM」を活用した各種包装材)

エレクトロニクス事業分野

- ディスプレイ関連では、カラーフィルタは、中小型液晶パネルの生産調整の影響を受け、前年を下回りました。一方、TFT液晶は、産業機器向けを中心に好調に推移しました。
- 半導体関連では、フォトマスクは、アジア地域の製造・販売体制の整備と欧米の事業構造改革を推進するとともに、



海外の先端品需要を積極的に取り込んだ結果、前年を上回りました。高密度半導体パッケージ基板のFC-BGA基板は、海外向けが減少し、前年を下回りました。



半導体関連の製品例

第2四半期 連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間
	(平成27年3月31日現在)	(平成27年9月30日現在)
流動資産	924,728	832,519
現金及び預金	209,144	184,582
受取手形及び売掛金	409,970	367,712
有価証券	174,449	147,886
商品及び製品	38,270	36,884
仕掛品	32,930	35,778
原材料及び貯蔵品	19,943	20,637
その他	44,252	42,884
貸倒引当金	△4,234	△3,844
固定資産	1,069,914	1,032,616
有形固定資産	566,124	543,551
建物及び構築物	256,128	235,416
機械装置及び運搬具	125,804	119,319
土地	139,146	143,480
建設仮勘定	31,885	33,067
その他	13,159	12,268
無形固定資産	27,587	26,435
その他	27,587	26,435
投資その他の資産	476,201	462,629
投資有価証券	399,930	381,640
その他	78,439	83,225
貸倒引当金	△2,168	△2,236
資産合計	1,994,642	1,865,135

(単位:百万円)

負債の部	前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間
	(平成27年3月31日現在)	(平成27年9月30日現在)
流動負債	515,536	411,420
支払手形及び買掛金	285,131	262,137
短期借入金	15,144	18,877
1年内返済予定の長期借入金	28,395	28,740
1年内償還予定の社債	59,958	—
未払法人税等	9,250	7,700
賞与引当金	17,906	17,406
その他の引当金	1,777	2,106
その他	97,971	74,451
固定負債	396,262	395,345
社債	90,000	90,000
新株予約権付社債	80,261	80,227
長期借入金	84,084	88,852
退職給付に係る負債	43,000	42,072
その他の引当金	1,852	1,756
その他	97,064	92,437
負債合計	911,798	806,765

純資産の部	前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間
	(平成27年3月31日現在)	(平成27年9月30日現在)
株主資本	766,050	767,166
資本金	104,986	104,986
資本剰余金	117,738	117,745
利益剰余金	600,620	601,775
自己株式	△57,294	△57,340
その他の包括利益累計額	167,239	160,064
その他有価証券評価差額金	150,543	140,899
繰延ヘッジ損益	△53	△82
為替換算調整勘定	6,146	8,275
退職給付に係る調整累計額	10,604	10,971
非支配株主持分	149,552	131,139
純資産合計	1,082,843	1,058,370
負債純資産合計	1,994,642	1,865,135

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)
売上高	724,256	720,864
売上原価	611,764	599,256
売上総利益	112,491	121,607
販売費及び一般管理費	103,796	107,374
営業利益	8,695	14,233
営業外収益	9,101	7,257
受取利息及び配当金	2,896	4,088
持分法による投資利益	2,640	1,522
その他	3,564	1,646
営業外費用	4,245	5,684
支払利息	1,411	1,584
その他	2,833	4,099
経常利益	13,551	15,807
特別利益	2,221	6,400
固定資産売却益	337	4,431
投資有価証券売却益	1,368	941
退職給付信託設定益	－	1,022
関係会社株式売却益	－	4
持分変動利益	515	－
特別損失	4,140	7,314
固定資産除売却損	489	526
投資有価証券評価損	259	17
投資有価証券売却損	14	11
減損損失	2,523	1,199
関係会社特別退職金	265	1,363
関係会社株式売却損	－	3,995
関係会社整理損	－	117
その他	588	82
税金等調整前四半期純利益	11,632	14,892
法人税、住民税及び事業税	5,487	5,617
法人税等調整額	△480	△392
四半期純利益	6,625	9,667
非支配株主に帰属する四半期純利益	170	1,461
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,454	8,206

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)
四半期純利益	6,625	9,667
その他の包括利益	77	△8,213
その他有価証券評価差額金	3,358	△10,099
繰延ヘッジ損益	△34	△28
為替換算調整勘定	△4,033	1,835
退職給付に係る調整額	395	417
持分法適用会社に対する持分相当額	391	△339
四半期包括利益	6,702	1,454

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,268	42,948
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,876	△33,801
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,914	△58,862
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,545	924
現金及び現金同等物の増減額	△6,976	△48,790
現金及び現金同等物の期首残高	287,689	335,911
現金及び現金同等物の四半期末残高	280,713	287,120

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

1株当たり株主配当金（中間期）

9円（年間18円予定）

中間配当金につきましては、1株につき9円とし、年間では18円の配当を予定しています。

トピックス

第43回技能五輪国際大会の「印刷職種」で健闘



身につけた技術を駆使し、課題に取り組む堀洸太[1993年生まれ、2012年4月(株)トッパンコミュニケーションプロダクツ入社、札幌工場勤務]

去る8月11日から16日までブラジルのサンパウロで開催された第43回技能五輪国際大会に、当社の社員、堀洸太(ほり・こうた)が「印刷職種」の日本代表選手として参加し、健闘の結果、7位となりました。

今大会の「印刷職種」には、日本をはじめ、ベルギー、ブラジル、中国、コロンビア、デンマーク、ドイツ、フィンランド、フランス、オーストリア、スイスの11カ国が参加しました。「印刷職種」では、オフセット印刷を中心に、調色(インキの調合)、デジタル印刷(デジタルデータからデジタル出力)、印刷メンテナンス(印刷機の保守点検)、印刷シミュレーター【SHOTS】(印刷トレーニングシミュレーターでのトラブル発見と修正)、断裁、印刷不良発見など14の課題で競技が行われ、順位は、1位ブラジル、2位中国、3位フランスでした。

堀洸太は、今大会を振り返り、指導を仰いだエキスパートや技術スタッフ、関係者ならびに応援してくれた



「印刷職種」の競技会場

皆さんに感謝の意を表するとともに、「この大会への参加を通じて、技術の習得や仕事の考え方など、たくさんの成果を得ることができました。今後の仕事に役立てていきたいと思います」と述べました。

当社は、技能五輪国際大会で「印刷職種」が正式競技種目となって以来、若手社員の技術力向上を目指して選手育成のプロジェクトチームを結成し、社内認定の技能指導者が若手社員への技術伝承を進めてきました。今大会に日本代表として当社社員が参加し、世界の代表とともに課題に取り組めたことは、当社の長年にわたる技能者育成の成果であり、今後も技能五輪国際大会への挑戦を続け、印刷技能の向上を図っていきます。

技能五輪国際大会

各国の22歳以下の若者が技能を競うことにより参加各国の職業訓練の振興と技能水準の向上などを目的とした大会で、1950年より開催。今大会では、50職種(日本は40職種に参加)に、60以上の国・地域から約1,200人の代表選手が参加。世界一を目指して、モノづくりの技を競う「技能のオリンピック」です。「印刷職種」は2007年の第39回静岡大会より正式競技種目に採用されました。

さらに詳しい情報は、当社ウェブサイトのニュースリリースのページをご参照ください。
URL: <http://www.toppan.co.jp/>

障がい者スポーツの情報発信サイト「SPORTRAIT」をスタート

当社は、障がい者スポーツの認知拡大による普及・発展を図るため、障がい者スポーツの選手や競技ルールの情報発信を行うWebサイト「SPORTRAIT(スポーツトレイト)」を開設し、9月16日より公開を始めました。

このWebサイトは、障がい者スポーツを初めて観戦する人たちに向けて、障がい者スポーツを理解し、楽しむために欠かすことのできない「選手」、「競技」、「支援」の3つのコンテンツを発信していきます。

今後は、「SPORTRAIT」を通じて、社内外を問わず、障がい者スポーツ競技会への観戦者数を増やし、障がい者スポーツ

を盛り上げていくことを目指します。
(2015年9月17日発表)



「SPORTRAIT」のトップ画面。サイト開設時は、車いす陸上の渡辺勝選手(凸版印刷所属)、ブラインドサッカー日本代表の落合啓士選手の二人を掲載。(URL <http://sportrait-web.com>)

企業の従業員とそのご家族に向けた『マイナンバー制度 理解・啓発ブック』の提供開始

当社と株式会社フレーベル館は、マイナンバー制度の開始にともない、企業の従業員とそのご家族に向けて、わかりやすく・楽しく制度を理解することができるガイドブック『マイナンバー制度 理解・啓発ブック』を制作し、両社の共同事業として企業や自治体向けに、10月中旬より本格的な提供を開始しました。

今後は、このような取り組みをはじめ、さまざまな角度からマイナンバー関連ビジネスの機会創出・拡大を図るとともに、「マイナンバー制度」という日本の新しい社会基盤の普及推進から民間利用の拡大まで幅広い領域で貢献していきます。(2015年10月19日発表)



①会社員編 ②ファミリー編
ビジネスマン向けと、子どもから高齢者まで幅広いファミリー層向けの2つのパートの内容が1冊にまとまっています。

国際広告賞「クリオヘルスケア (CLIO Healthcare)」のデザイン部門で銅賞を受賞

当社が企画した脳神経疾患の理解促進のためのツール「Connect-Pen & Notebook」(ツナゲルペンとツナゲルノート)が、世界で最も権威のある国際広告賞の一つである「クリオ賞 (CLIO Awards)」からヘルスケア専門のアワードとして開設された「クリオヘルスケア (CLIO Healthcare)」で、銅賞(ブロンズ)を受賞しました。

大塚製薬株式会社が実施している脳神経疾患啓発活動の一環として、一般の方を対象に疾患への理解を深めてもらう目的で、新たに企画、制作された作品です。

そううつ病、てんかん、統合失調症、パーキンソン病などの病気は、脳の神経がうまくつながらず、伝達の不調を起こしていることが一因と考えられていることから、脳

の伝達不調を印象的に訴求するために、脳を電子回路に置き換えて表現しました。

本作品では、材料に銀ナノインクという導電性のあるインクを使用しています。ノートには疾患の説明と、その説明に連動した未接続の電気回路が印刷されています。使用者が銀ナノインクを充填したペンで未接続部分の配線を描いてノートの回路を完成させると、LEDが点灯。疾患、脳の伝達不調に対する理解を深めていきます。

テクノロジーとクリエイティブの融合が注目されているなかで、機能性インクという印刷テクノロジーと、啓発メッセージ、デザインというクリエイティブを掛け合わせた作品です。
(2015年10月1日発表)



受賞作品名:「Connect-Pen & Notebook」(ツナゲルペンとツナゲルノート)
広告主: 大塚製薬株式会社
企画、コピー、デザイン: 凸版印刷株式会社 トッパンアイデアセンター
制作: 凸版印刷株式会社
寸法: 縦245mm×横130mm×高20mm
バッテリー方式: コイン型リチウム電池

※ニュースの内容は発表時のものです。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

9月

湿度に反応して多色の絵柄を表示する湿度応答性カラーフィルムを開発

インフォメーション

グラフィックトライアル10回記念 展覧会開催と書籍出版

液体製品用スタンディングパウチ「エアホールドパウチ®」業界初、エンジンオイルの新容器に採用

ピックアップ

障がい者スポーツの情報発信サイト「SPORTRAIT」を開設

10月

凸版印刷とフレーベル館、企業の従業員とそご家族に向けた『マイナンバー制度 理解・啓発ブック』の提供開始

ピックアップ

ピックアップ

国際広告賞「クリオヘルスケア (CLIO Healthcare)」のデザイン部門で銅賞を受賞

11月

新たに「健康経営宣言」を制定し、健康経営を推進

ヘルスケア事業を強化、新たに「特定健診における受診率向上プログラム」を提供開始

株主優待カレンダーについて

当社では、2015年3月末の時点で1単元株(1,000株)以上をお持ちの方で、お申し込みをされた株主の皆さまへ、株主優待カレンダーを進呈しています。今回は小林古径画伯の名作で構成したカレンダーをお届けいたします。カレンダーは、12月上旬頃までにお手元に届くように発送の予定です。12月中旬を過ぎても届かない場合には、右記の電話番号までお問

い合わせください。なお、土・日・祝日および年末年始(12／29～1／3)は電話受付をお休みとさせていただきます。

電話番号：03-3835-5310
受付期間：2016年1月22日(金)まで
受付時間：9:00～17:30(月～金)
※土・日・祝日および年末年始(12／29～1／3)は除く



2016年版株主優待カレンダー

「グラフィックトライアル」10回を記念し、書籍を出版

当社が主催し2006年にスタートした「グラフィックトライアル」が今年10回を迎えたことを記念し、書籍『「グラフィックトライアル」クリエイターとプリンティングディレクターによる印刷表現への挑戦』を企画、株式会社グラフィック社より出版しました。

「グラフィックトライアル」は、第一線で活躍するクリエイターと凸版印刷のプリンティングディレクターが協力してグラフィックデザインと印刷表現の新しい可能性

を追求しポスター作品に結実させる試みで、本書はその成果をよりわかりやすく、デザインに関わる方々により広くお届けすることを目的に全10回のトライアルをまとめたものです。また、9月～10月には東京ミッドタウン・デザインハブにおいて特別展を開催し、好評を博しました。
(2015年9月1日発表)

『「グラフィックトライアル」クリエイターとプリンティングディレクターによる印刷表現への挑戦』
仕様：B-5変形(257×188mm)本文オールカラー、288頁
カバー付並製本 本作品と仕様が同じ現物綴じ込み付
価格：2,916円(税込)
発売：2015年9月1日
著者：凸版印刷株式会社
企画：凸版印刷株式会社 グラフィック・アーツ・センター／印刷博物館
編集・発行：株式会社グラフィック社
印刷・製本：凸版印刷株式会社



株主さま見学ツアーを開催

トッパングループへの理解を深めていただくため、2015年10月24日に大阪・中之島、11月7日に東京・小石川ビルにて株主さまをご招待し、見学会を開催しました。

両地区合計で1,400通を超えるご応募をいただき、合わせて168名の方が参加されました。当社ショールームの「PLAZA21」に加え、東京では印刷博物館、大阪では新聞工場などを見学されました。



印刷博物館見学の様子

「世界のブックデザイン2014-15」展開催

会 期：2015年12月5日(土)～2016年2月28日(日)
会 場：印刷博物館 P&Pギャラリー
開館時間：10:00～18:00 入場無料
休 館 日：毎週月曜日(ただし、月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日が休館)、12月28日～1月4日

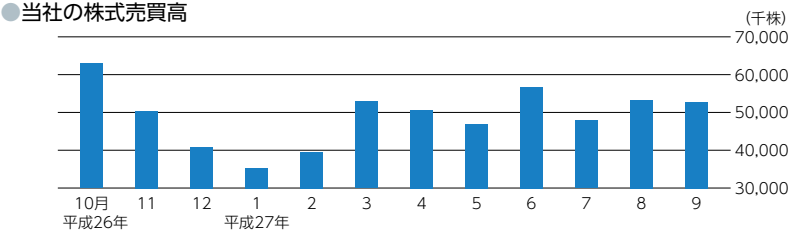
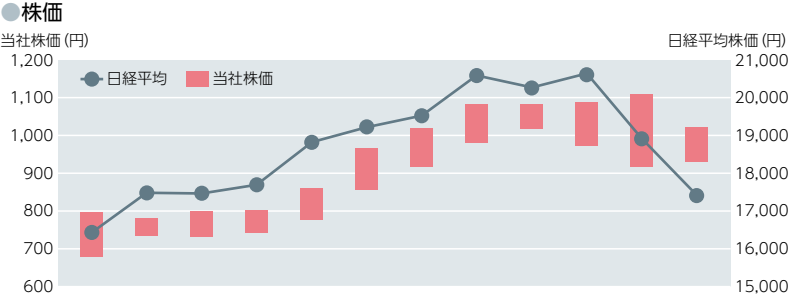
今年で8回目となる本展では、「世界で最も美しい本コンクール」の入選図書とともに、日本、ドイツ、オランダ、スイス、オーストリア、カナダ、中国と、今年はじめてご紹介するデンマークを加えた8つの国のコンクールで入賞した、優れたデザインの書籍およそ200点を展示します。
2015年の「世界で最も美しい本コンクール」には、30の国と地域から585点の応募がありました。今年の金の活字賞はベルギーから応募された個性的なアートブックが受賞し、また日本から応募された書籍が銅賞を受賞しました。

例年通り、会場で展示する本は、実際にお手にとってご覧いただけます。ぜひ、ご来館いただき、各国のブックデザインおよび造本技術の水準を実感してください。

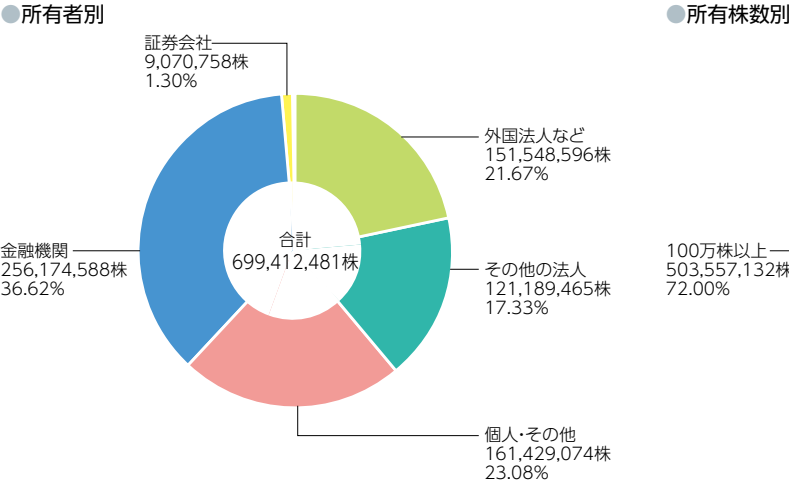


「世界のブックデザイン2014-15」展ポスター

■株価および売買高の推移



■株式分布状況



※自己株式54,946千株は、「所有者別」は「個人・その他」に、「所有株数別」は「100万株以上」に含まれております。

■会社概要

- 社名 凸版印刷株式会社
- 本社事務所 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1番地 電話:03-3835-5111(代表) URL:http://www.toppan.co.jp/
- 会社設立 明治33年1月17日
- 株式会社に組織変更 明治41年6月4日
- 資本金 104,986,430,314円

■事業所

- 本社および事業(本)部 本店／本社事務所／情報コミュニケーション事業本部／生活・産業事業本部／エレクトロニクス事業本部／西日本事業本部／中部事業部／東日本事業本部
- 研究所 総合研究所
- 工場 札幌、千歳、仙台、群馬、川口、深谷、朝霞、坂戸、幸手、嵐山、板橋、相模原、新潟、三ヶ日、富山、名古屋、三重、松阪、滋賀、伊丹、滝野、福岡、熊本など ※上記工場には、当社の主要な製造子会社を含んでおります。
- 営業所 帯広、札幌、千歳、函館、青森、盛岡、仙台、秋田、山形、郡山、水戸、宇都宮、高崎、さいたま、千葉、東京、横浜、新潟、金沢、長野、松本、静岡、浜松、名古屋、松阪、京都、大阪、和歌山、神戸、松江、岡山、福山、広島、周南、高松、松山、高知、北九州、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇
- 海外(現地法人含む) ニューヨーク、サンタクララ、ラウンドロック、デュッセルドルフ、アテネ、シンガポール、北京、上海、香港、台北、バンコク、ジャカルタ、グルガオンなど

■役員

代表取締役会長	足立直樹	取締役	江崎純生
代表取締役社長	金子真吾	取締役	山野泰彦
取締役副社長	降矢祥博	取締役	小谷友一郎
取締役副社長	熊本優一	取締役	岩瀬浩
専務取締役	長山芳幸	取締役	山中紀夫
専務取締役	大久保伸一	取締役	中尾光宏
専務取締役	垣谷英孝	取締役	佐藤友治
専務取締役	伊東厚	取締役	坂井和則
専務取締役	新井誠	取締役	野口晴彦
常務取締役	磨秀晴	取締役	植木哲朗
常務取締役	松田直行	取締役	斉藤昌典
常務取締役	佐藤暢晃	常任監査役	高宮城 實明
常務取締役	伊沢太郎	監査役	田上 静之
社外取締役	佐久間 国雄	社外監査役	野村 修也
社外取締役	野間 省伸	社外監査役	高木 新二郎
		社外監査役	重松 博之

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日／中間配当を行う場合 9月30日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)
1単元の株式の数	1,000株
公告の方法	電子公告により当社ホームページ(http://www.toppan.co.jp/)に掲載いたします。 なお、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、官報に掲載いたします。
上場金融商品取引所	東京証券取引所
証券コード	7911

株主優待カレンダー発送に関するお問い合わせ

受付期間 2016年1月22日(金)まで
受付時間 9:00～17:30(月～金)
※土・日・祝日および年末年始(12/29～1/3)は除く

TEL:03-3835-5310

- 〈ご注意〉
- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 〈ご案内〉
- 平成26年以降の上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について
平成26年1月1日以降に個人の株主様が支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として20.315%の源泉徴収税率が適用されます。
※所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%
なお、株主様によっては、本ご案内の内容が当てはまらない可能性もあります。詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にご相談ください。
 - 少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受取りについて
新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式比例配分方式」をお選びいただく必要があります。ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問合せください。

凸版印刷株式会社

本店 〒110-8560 東京都台東区台東一丁目5番1号
本社事務所 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1番地
TEL:03-3835-5111(代表)

URL: <http://www.toppan.co.jp/>



CO₂の「見える化」
カーボンフットプリント
1冊あたり
<http://www.cfp-japan.jp>
CR-B503-14013



トッパングループの
(株)オルタステクノロジーが削減した
J-VERクレジットを用いて
ライフサイクル全体の
カーボン・オフセットをしました。